

平成27年11月20日
開発建設部河川課
北部ダム統合管理事務所

いきものたちの全国ツアー「雨といきもの展」を開催！

生き物は、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか？

「雨といきもの展」は、“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示です。

色々な生き物の立場から雨をみてみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。

普段とは違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

巡回企画展「雨といきもの展」は、これまで日本全国で展示を行ってきていますが、沖縄県では今回が初の展示になります。

【開催場所・開催期間】

○沖縄総合事務局 2号館 1階

行政情報プラザ：平成27年12月8日（火）～12月11日（金）

○北部ダム統合管理事務所

羽地ダム管理支所：平成27年12月19日（土）～平成28年1月17日（日）

金武ダム管理支所：平成28年1月23日（土）～平成28年2月14日（日）

【展示内容】

“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹のカエル「アマツブ楽団」がご案内します。

●映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示「ことばあめ」

●雨と生きものに関する絵本「雨と生きもの物語」

●「アマツブクイズ」

●雨音の楽器などの体験展示「雨の音で遊ぼう」など

問合せ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 河川課

課長 安藤 詳平

課長補佐 嵩本 博

電話：098-866-1911（直通）

内閣府 沖縄総合事務局 北部ダム統合管理事務所

流域対策課長 安次嶺 正春

電話：098-53-2442（代表）

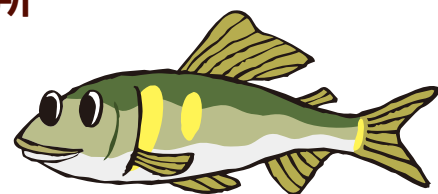
雨・いきもの展

雨がふったら はじまるよ
いきものたちの 全国ツアー！



- 開催場所＝北部ダム統合管理事務所羽地ダム管理支所
- 開催期間＝平成27年12月19日(土)～
平成28年1月17日(日)
- 休館日＝年中無休 ●開館時間＝9:00～17:00

- 主催＝内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所
- 企画制作＝水の巡回展ネットワーク
- 協力＝NPO法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ、土木研究所 自然共生研究センター、
東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、
九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、日本河川・流域再生ネットワーク



リュウキュウアユ
Plecoglossus altivelis ryukyuensis (サケ目)



この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

ぼくらは
アマツブ楽団
よろしくね！ ☆

雨といきもの展



●みなさんは雨がすきですか？きらいですか？
●雨の音がすき、長靴がすき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対するいろいろな想いがあると思います。●では、

私たち人以外のいきものは、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろないきものの立場から雨をみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所を好む魚や植物、みんな雨と上手につきあいながら暮らしているのです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹の「アマツブ楽団」がご案内します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ことばあめ”。

●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

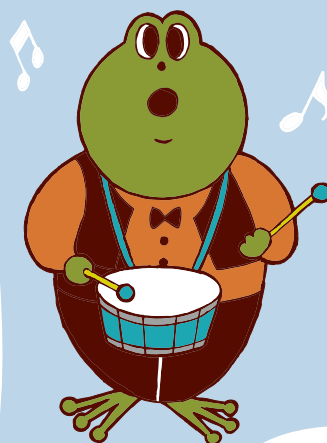
▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



日本各地を旅して
あいろん仲間たち
えろるかもね！に



この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



羽地ダム管理支所

【交通】沖縄自動車道許田 IC から クルマで約30分
路線バス（72番、73番、74番）親川入口バス停から
徒歩で約30分

【入場料】無料

【住所】〒905-1147 沖縄県名護市字田井等 1017-8

【問い合わせ】羽地ダム管理支所

0980-53-6411



雨・いきもの展

雨がふったら はじまるよ
いきものたちの 全国ツアー！



- 開催場所＝北部ダム統合管理事務所金武ダム管理支所
- 開催期間＝平成28年1月23日(土)～
平成28年2月14日(日)
- 休館日＝年中無休 ●開館時間＝9:00～17:00
- 主催＝内閣府沖縄総合事務局北部ダム統合管理事務所
- 企画制作＝水の巡回展ネットワーク
- 協力＝NPO法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ、土木研究所 自然共生研究センター、
東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、
九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、日本河川・流域再生ネットワーク



ベニトンボ
Trithemis aurora (トンボ目)



この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

雨といきもの展

ぼくらは
アマツブ楽団
よろしくね！ ☆



●みなさんは雨がすきですか？きらいですか？
●雨の音がすき、長靴がすき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対するいろいろな想いがあると思います。●では、

私たち人以外のいきものは、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろないきものの立場から雨をみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所を好む魚や植物、みんな雨と上手につきあいながら暮らしているのです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマにした展示を、日本各地を旅する3匹の「アマツブ楽団」がご案内します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ことばあめ”。

●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

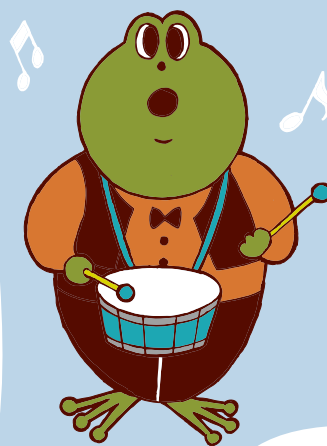
▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



日本各地を旅する仲間たちにあいさす！



この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



金武ダム管理支所

【交通】沖縄自動車道金武 IC から クルマで約10分
沖縄自動車道宜野座 IC から クルマで約10分
路線バス（21番、77番）銀原バス停から 徒歩で約5分
【入場料】無料
【住所】〒904-1201 沖縄県国頭郡金武町金武 9959
【問い合わせ】金武ダム管理支所
0980-52-3872



展示事例(他での開催状況)

